

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数       |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営                       | 11        |
| 1. 理念の共有                       | 2         |
| 2. 地域との支えあい                    | 1         |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3         |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3         |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2         |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援              | 2         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1         |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       | 6         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1         |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2         |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2         |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援          | 11        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2         |
| <b>合計</b>                      | <b>30</b> |

|       |                  |
|-------|------------------|
| 事業所番号 | 1293100028       |
| 法人名   | 社会福祉法人 天祐会       |
| 事業所名  | グループホーム 天羽苑      |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 6 月 7 日  |
| 評価確定日 | 平成 20 年 6 月 30 日 |
| 評価機関名 | 株式会社 日本ビジネスシステム  |

**項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 6月12日

## 【評価実施概要】

|       |                                     |       |            |
|-------|-------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 1293100028                          |       |            |
| 法人名   | 社会福祉法人 天祐会                          |       |            |
| 事業所名  | グループホーム 天羽苑                         |       |            |
| 所在地   | 千葉県富津市不入斗224-1<br>(電話) 0439-80-7727 |       |            |
| 評価機関名 | 株式会社 日本ビジネスシステム                     |       |            |
| 所在地   | 千葉県市川市富浜3-8-8                       |       |            |
| 訪問調査日 | 平成20年 6月 7日                         | 評価確定日 | 平成20年6月30日 |

【情報提供票より】(平成20年 5月14日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |             |                           |     |
|-------|-------------|---------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成18年12月 1日 |                           |     |
| ユニット数 | 1 ユニット      | 利用定員数計                    | 9 人 |
| 職員数   | 8 人         | 常勤 7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6 人 |     |

### (2) 建物概要

|      |         |       |
|------|---------|-------|
| 建物構造 | 木造平屋 造り |       |
|      | 1 階建ての  | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                    |                |           |
|---------------------|--------------------|----------------|-----------|
| 家賃(平均月額)            | 40,000 円           | その他の経費(月額)     | 15,000 円  |
| 敷金                  | 有( ) 円 (無)         |                |           |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | (有) 300,000 円<br>無 | 有りの場合<br>償却の有無 | (有) / 無   |
| 食材料費                | 朝食                 | 500 円          | 昼食 500 円  |
|                     | 夕食                 | 500 円          | おやつ 200 円 |
|                     | または1日当たり           |                | 円         |

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 7 名     | 男性 6 名  | 女性 1 名  |
| 要介護1  | 0 名     | 要介護2    | 2 名     |
| 要介護3  | 2 名     | 要介護4    | 3 名     |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2    | 0 名     |
| 年齢    | 平均 81 歳 | 最低 60 歳 | 最高 93 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |           |
|---------|-----------|
| 協力医療機関名 | 原田内科、高木歯科 |
|---------|-----------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の多い自然に囲まれた静かな環境の中に「グループホーム 天羽苑」がある。木造平屋建ての新しい建物で、デイサービス等の施設が併設されている。施設内は全面バリアフリーで広々としており、高い天井と大きな窓でとても明るく開放感がある。施設の敷地が広く、菜園等もあり、あまり出歩けない入居者でも敷地内で十分に散歩や日光浴を楽しめる。また、併設のデイサービス利用者と交流を持ち、食事やレクリエーションを共に楽しんでいる。職員は、入居者が安心・安全で穏やかに過ごせるように、アットホームな雰囲気を大切に柔軟な支援を行っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)     |
|      | 今回が初回の外部評価受審の為、前回評価なし。                   |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)              |
|      |  |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
|      |  |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)     |
|      |  |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)                 |
|      |  |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印 ) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                   |
|-----------------------|----|--|--|-------|--|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |  |  |       |  |
| 1. 理念と共有              |    |  |  |       |  |
|                       | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 「知識・技術・心」を主眼とした独自の理念を掲げている。入居者が地域の中で生きがいを持ち、安心・安全で穏やかに過ごせるように、職員全員が理念に基づいたサービスの提供に努めている。                                       |       |  |
|                       | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 事業所内に理念を掲示すると共に、入職時の研修やミーティング等において、職員全員に理念の周知と確認を行っている。職員は理念を意識しながら、入居者と同じ目線に立って日々の支援に取り組んでいる。                                 |       |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |  |  |       |  |
|                       | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域社協の会議に出席している。町内会に入会し地域行事に参加すると共に、近隣住民とは散歩の途中で挨拶を交わし交流に努めている。また、近隣小学校の運動会の見学に出掛け、世代間交流を図っている。今後は施設行事を企画・実施し、地域住民を招待したいと考えている。 |       |  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |  |  |       |  |
|                       | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 自己評価の作成は管理者等一部の職員で行っているが、職員会議等で職員全員に報告されている。職員は外部評価の意義を理解している。改善点は素直に受け止めて改善を図り、サービスの質の向上に活かしていきたい。                            |       | 職員全員が評価の作成に関わる事で、気付きを大切にしながら、更なるサービスの質の向上に繋げて頂く事を望みます。             |
|                       | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議はまだ行われていない。今後、市職員・家族代表・地区長・施設関係者等を構成員として、開催する予定となっている。   |       | 定期的に運営推進会議を開催し、報告や情報交換等を行うと共に、参加者からの意見や要望を受け、サービスの向上に活かして頂く事を望みます。 |

【千葉県】グループホーム 天羽苑

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|----------------------------------|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 管理者は、介護保険認定審査員として審査会に出席し、市職員と連絡を取る機会を多く持っている。施設運営全般に関する相談等を随時行っている。また、市と連携を図り、市が主催する施設見学会を受け入れている。         |     |                                  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |     |                                  |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 家族の面会時や電話、手紙にて、入居者の生活状況や金銭管理等の報告を行っている。生活状況に変化のあった場合や受診した場合は、随時報告を行っている。                                   |     |                                  |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 苦情・相談窓口が設置されていると共に、家族の面会時に意見や要望等の確認を行っている。今のところ意見や要望は無いが、挙がった場合にはミーティング等で検討し、適切な対応に努めたい。                   |     |                                  |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 管理者に移動があった場合は、家族へ報告を行っている。また、入職時には挨拶や言葉掛けによって、入居者への影響を最小限に抑えて馴染みの関係を築けるように配慮している。                          |     |                                  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |     |                                  |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 外部研修は、事業所内に研修予定を回覧し積極的に参加している。研修参加後は、職員会議での報告や資料の回覧等を行い、職員全員への周知を図っている。内部研修については、今後定期的の実施したいと考えている。        |     |                                  |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 地区社協の会議に出席し、情報交換等を行っている。他施設との相互見学も積極的に行われ、他施設の良い所を取り入れてサービスの向上に繋げている。また、法人内の他施設とも会議や行事等で交流を持ち、情報交換等を行っている。 |     |                                  |

| 外部                               | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|-----|----------------------------------|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |  |   |     |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応        |    |  |   |     |                                  |
| 12                               | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>随時、見学を実施していると共に、希望者には体験入居も実施しており、施設の雰囲気に慣れてもらうよう対応している。入居後は、言葉掛けや話をする機会を多く持ち、本人の意向やペースに合わせた支援を行い、出来るだけ早く馴染めるように心掛けている。</p>               |     |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援        |    |  |   |     |                                  |
| 13                               | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                       | <p>本人の能力や希望に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。また、入居者は得意分野での役割を持って生活している。職員は入居者に対して尊敬の念を持ち、歴史や知識を学び共に支えあう関係を築いている。</p>                                   |     |                                  |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |     |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                      |    |  |   |     |                                  |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>   | <p>入居時に、本人や家族から意向や生活状況等を確認している。入居後は、職員の日々の気付きや情報交換により本人の意向の把握に努め、意向に沿った生活の支援を行っている。</p>   |     |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |    |  |   |     |                                  |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>        | <p>介護計画においては、職員会議にて意見や情報を話し合い、本人や家族の意向を踏まえた上で、計画作成担当者が作成している。作成後は職員全員が閲覧し周知を図っている。</p>  |     |                                  |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>    | <p>毎月計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化があった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。介護計画においては、職員会議にて話し合い、本人や家族の意向を踏まえて、計画作成担当者が作成している。作成後は職員全員が閲覧し周知を図っている。</p> |     |                                  |

| 外部                                     | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|--|----|--|---|-----|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |  |   |     |  |
| 17                                     | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 理容専門の椅子を備え、毎月出張理容を実施し身だしなみの支援を行っている。本人の希望に応じて買い物の支援を行っている。また、デイサービスと連携し合同のレクリエーションや外出等で、生活の活性化を図っている。 |     |  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |  |   |     |  |
| 18                                     | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 基本的に通院の支援は家族が行っているが、やむない場合はかかりつけ医への受診支援を行っている。また、必要に応じて協力内科や歯科の往診、訪問看護等の適切な医療支援を行っている。                |     |  |
| 19                                     | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期においての方針は掲げていないが、重度化した場合は、家族と相談し意向を把握すると共に、医師との連携を図り、施設として出来る最大限の支援を行っている。                          |     | 重度化や終末期に向けた事業所の方針を確立した上で明文化し、最大限の支援が出来る体制作りをして頂く事を期待します。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援                |    |  |   |     |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |  |   |     |  |
| (1) 一人ひとりの尊重                           |    |  |   |     |  |
| 20                                     | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 個人の書類等は事務所内に保管し、個人情報の保護に努めている。職員は入職時研修で接遇マナーを学び、入居者への言葉使いに気を配り、プライバシーを損ねないよう配慮している。                   |     |  |
| 21                                     | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 日々の日課の取り決めは無く、一人ひとりのペースを大切に、本人の希望に沿った生活を支援している。希望を言い出せない入居者に対しては、言葉掛けの工夫や会話の中から汲み取るように努めている。          |     |  |

| 外部                           | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |  |  |     |                                   |
| 22                           | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 入居者の希望や能力に応じて、食事の準備や片付けを共同で行っている。平日の昼食はデイサービス利用者と食卓を共にし、食の楽しみを共有している。また、定期的な外食会や出前も実施しており、食の楽しみを支援している。                      |     |                                   |
| 23                           | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴は本人の希望や状況に応じて、時間や回数等柔軟に対応している。併設のデイサービス施設に24時間利用可能なジェットバスと機械浴設備を備えており、入居者の入浴はその施設を利用している。入浴拒否のあった場合は、言葉掛け等を工夫し適切な対応を図っている。 |     |                                   |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |  |     |                                   |
| 24                           | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居者の希望や能力に応じて、生活活動を共同で行っている。昼食やレクリエーションをデイサービス利用者と共にし、楽しみながら外部との交流を図っている。また外出会や外食会等を実施して、楽しみごとの支援を行っている。                     |     |                                   |
| 25                           | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 入居者の希望に応じて、散歩や買い物等の外出を支援している。施設の敷地が広く、あまり出歩けない入居者も敷地内の散歩やペットの犬とのふれあいを楽しんだり、菜園での野菜栽培で得意分野を活かす等、戸外での自由な活動を支援している。              |     |                                   |
| (4)安心と安全を支える支援               |    |  |  |     |                                   |
| 26                           | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中は玄関の施錠は行っておらず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合は無理に引き止めず、職員が言葉掛けや見守りで柔軟に対応している。  |     |                                   |
| 27                           | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 地域の消防署の協力のもと、年3回の消防・非難訓練を実施していると共に、近隣に対して緊急時における協力を呼びかけている。緊急時マニュアルや緊急連絡網を作成し、職員への周知徹底を図り、緊急時・災害時における対策を講じている。               |     |                                   |

【千葉県】グループホーム 天羽苑

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|-----|----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |     |                                  |
| 28                        | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                   | <p>本人の好みや能力に合わせた食事提供を行っている。摂取量が少ない場合は、好みの物や摂取しやすい物で補い、必要な栄養の確保に努めている。</p>   |     |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |   |     |                                  |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |   |     |                                  |
| 29                        | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>全面バリアフリーになっていると共に、共有スペースは高い天井と大きな窓で明るく広々として開放的である。居間には畳が敷かれており、季節の花が飾られて入居者がくつろげる場所となっている。居間から続く窓の外には広いウッドデッキが設置され、日光浴が楽しめる。</p>                   |     |                                  |
| 30                        | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                   | <p>入居者の希望により馴染みの物を持ち込む事が可能であり、居心地良く安心して過ごせるように配慮されている。全室フローリングとなっているが、希望により畳を敷くことが可能となっている。また、居室での家族の宿泊も可能となっている。全居室にエアコンが設置されており、適切な空調管理がなされている。</p> |     |                                  |